

休講と学費の関係(続)

【ご意見・ご要望】(投稿日:2020年5月1日)

意見です。

まず、以前の投稿とそれに対する返信を示します。

【ご意見・ご要望】(投稿日:2020年4月1日) COVID-19による感染症の蔓延に伴い、正課活動も課外活動も制限される状況が続いています。全授業の原則休止、学内施設の閉鎖なども、行われてしかるべき対応だと思えます。さて、我々学生は学費を払い、対価として学内のリソースを利用して学びを深め、また福利厚生之恩恵に与っています。あるはずの授業がなく、学内リソースも福利厚生施設も事実上利用不可能な現状で、通常通りの学費を払っていることには承服しかねます。2020年度前期に関し、学費が減免されてしかるべきと考えます。ご検討の上、議論の経緯を明確にしてご回答いただきたく思います。

【回答】(回答日:2020年4月20日)(回答者:教育推進・学生支援部)前期の授業実施については、令和2年4月1日付総長名の文書にてお知らせしたとおり、新型コロナウイルス感染症の集団感染等の懸念を考慮し、原則として5月6日までの休講措置をとっております。正課の学修について、現時点においては、今後の状況も勘案しつつ、オンライン等により着実に学修時間を確保し、教育効果をあげることができるよう、前期の単位認定に必要なしかるべき措置を行う予定としております。よって、ご意見にある「学費が減免」が、本学が定める授業料の減額という意味でしたら、そのような措置は予定しておりません。なお、新型コロナウイルス感染症の影響により家計が急変した方は、本学の授業料免除や日本学生支援機構の奨学金等の各種制度を利用してください。各種制度の申請に関し、ご不明な点等ございましたら学生課奨学掛まで、お問い合わせください。

これについて、論点は2つです。以下の(1)(2)の質問に、主張1. 2. を踏まえてお答えください。

(1)20日もかけて私の意見を検討していただき、ありがとうございました。しかしながら、回答では「学費の減免を検討したか」「(検討したなら)なぜ減免が行われないのか」が不明確です。この2点を明確に、「議論の経緯を明確に」再度ご回答ください。

(2)回答そのものが論点ずらしです。学費の対価である学習環境を提供していないのに、学費を通常通り払わせる理由を説明してください。

以下、付随する主張です。

1. 現状の確認(客観的事実)

本来利用できるはずの学内リソースが利用できていません。

4/1 の状況よりさらに現状は悪化しています(理系は新規実験禁止、文系も図書貸し出し停止)。

福利厚生施設も利用できません。

研究室には立ち入りが制限されています。

2. 主張(学生の意見)

現状では、学費を満額払う理由がありません。なぜなら、学費は十分な学習環境への対価だからです。十分な学習環境とは、したいときに実験ができて、文献を借りられることです。「オンライン等により着実に学修時間を確保し、教育効果をあげることができるよう、前期の単位認定に必要なしかるべき措置を行う予定」との回答でしたが、オンラインで実験はできませんし、文献も満足に見られません。

以上から、2020年度前期に関し、学費の半額以上の免除を主張します

【回答】(回答日：2020年5月21日)

(回答者：教育推進・学生支援部)

前回(「休講と学費の関係」(投稿日：2020年4月1日、回答日：2020年4月20日))の回答のとおりです。前回以上の内容は回答いたしかねます。

なお、本学ではこのたび、新型コロナウイルス感染症の影響により、家計急変やアルバイト収入の大幅な減少などにより修学に支障をきたすおそれのある本学学生に対し、今年度に既に実施済みの支援策を含め「緊急学生支援プラン」として、「緊急給付型奨学金の創設」、「授業料免除の拡大」、「オンライン授業実施のためのティーチングアシスタント、オフィスアシスタントの雇用」などにより学生支援を実施してまいります。